

門真神社プロジェクト『初午祭』大成功！

4年生担任チーム

これまで4年生が取り組んできた「門真神社プロジェクト」。

その一環として企画した3月15日「初午祭」が、無事に終わりました。

当日は、たくさんの地域の方々や子どもたちが訪れ、会場は笑顔であふれていました。

「楽しかった！」「来てよかった！」という声がたくさん聞こえ、帰りがけには6年生からも

「めっちゃ良かった！」「すごかった！」と声をかけてもらいました。

宮司さんや総代さんからも私たちにとってもありがたいお言葉をいただきました。

「今日はどうもありがとうございました。

参加してきていただいた子どもも参加してもらって、参加できなかった子ども、また神社に来てもらって色々知ってもらえたらなと思っています。

おかげさまで3月15日のお祭りも大変賑わって、例年以上に来ていただいて、非常に嬉しい感じになりました。また参加していただきますようお願いいたします。ありがとうございました。」

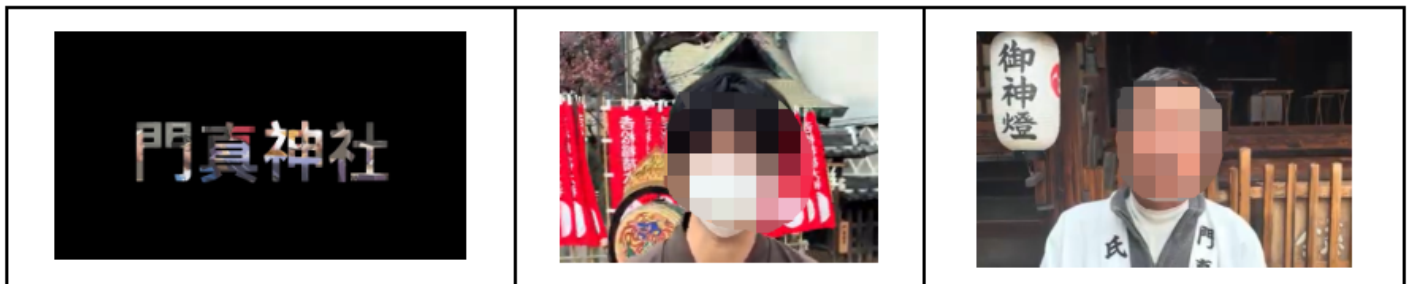
門真神社宮司さん

「本日はお疲れ様でした。

今回の初午祭に参加いただきまして、氏子、みんな大変喜んでおります。子供たちの賑やかな輪の中で、このお祭りが盛大に行われて、本当にありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。」

門真神社総代さん

子どもたちには、門真神社プロジェクトの動画と、いただいたメッセージ動画を見てもらいました。(1週間限定でクラスルームに公開します。ご家族でお楽しみください。)4年生の子どもたちが考え、取り組んだことが、地域の方々の笑顔につながった瞬間でした。



このプロジェクトで大切にしてきたこと

門真神社プロジェクトでは、子どもたちと次のことを大切にしながら取り組んできました。

- ・困っている人のために、自分の力を尽くすこと
- ・自分たちで考え、行動すること
- ・夢をかなえるための力を身につけること

子どもたちは、「どうしたら門真神社を盛り上げられるだろう」「来てくれた人を楽しんでもらうにはどうしたらいいだろう」と何度も話し合い、準備を重ねてきました。その成果が、今回の初午祭であらゆるところに花開いたように感じました。これは単なる成功ではありません。大成功だったと思います。



子どもたちのふりかえり

ふりかえりを一生懸命書いている姿にも、ふりかえりの量、中身どれを見ても、ずいぶん成長したなあと感じます。実際に書いている文章は、1000字を超える量を書いている子どもたくさんいますので、ここにすべてを掲載することはできませんが、いくつか共有したい言葉を紹介しますね。

1. 「夢を叶える力」を実感した言葉

「この勉強で1から100までを全部自分たちでやるっていう『夢を叶える力』をしっかりと身につける事ができたと思う。」

「企画が進むにつれて『これはみんなで協力して夢を叶える練習だ』と思うようになってきて、最終的には自分で夢を叶える力をつけれたと思う。」

2. 「不可能」を「できるかも」に変えた言葉

「正直、最初は門真神社を盛り上げたり、有名にできるとか無理かと思っていたけど、だんだんと積み重ねに総合の授業を受けているとやればできるかも、と出てきた。」

「二学期の10月でこんなの子供じゃできないと思ったけど、どんどん月日が流れていくにつれて、どんどん計画が進んで、たくさんの人を喜ばせるために最善を尽くすことがいいと思った。」

3. 「協力」の真価に気づいた言葉

「不安もたくさんあったけど、みんなが協力してくれたおかげで、うまくできたと思う。一人がとてもみんなを引っ張ってくれていて安心した。」

「一番最初に焼けたプラバン第一号ができたとき、総合の授業がとても楽しく思えました。他のチームも手伝ってくれてみんなが手伝ってくれなかったらここまでできてなかったな、と思いました。」

4. 自分たちの「すごい力」を発見した言葉

「また自分に様々な力がついたなと思い、これから活かそうと思いました。」

「自分たちではできないと思ったけど、どんどんできて、とてつもなく自分たちはすごい力が出せる、できるということがわかった。」

5. 「失敗」を乗り越える強さを得た言葉

「－(マイナス)最初は諦めていました。最初から諦めなかったら、もっと集中して、もっと頑張れば良かったと思います。→次はもっともっと頑張り最初から諦めなく頑張ります。」

「嬉しかったことが、失敗したことより気持ちが絶対強いし、できたとは思った。」

6. 「誰かの笑顔」を誇りに感じた言葉

「参加してくれた人たちの楽しそう姿を見ると本当にやって良かったなっと思いました。」

「お客さんが射的で、まとを当てて喜んでる姿を見て誇らしい気持ちになった。」

7. 「諦めない心」でやり遂げた言葉

「最初はガチャガチャなんか作れないと思っていたのですが、山本さんと石黒さんと岩本さんが、『作れる作れる』や『でけへんくてもあきらめたらあかんで』って言ってくれて嬉しかった。みんなできないことを諦めてないから、わたしも諦めない。」

「自分が思っていた6倍(お客さんが)来てびっくりしたし、嬉しかったです。頑張ってやってきた努力がここに出て嬉しかったです。」

8. 「学びが楽しい」を再発見した言葉

「最初はどううまくできるかなあっと不安だったけど、やってみるととっても楽しくて『もっとやりたい！』『またやりたい！』ととっても楽しみながら行うことができた。来年も頑張っこのような誰かの悩みをみんなで見ながら解決するようなことをやりたいと思った。すこしむずかしいところもあったけど、そのようなばかりじゃなく成功したことも、次に活かそうと思ったこともあった。むずかしいより、楽しいという気持ちのほうが強かった。」

「算数や国語も大事だけど自分の中では協力しないとできない算数もあるし、協力しないとできない国語もあるから、この学びが自分の中でいちばん大事な学びだったんじゃないかと思った。」

(担当より)

どうですか??? すごくないですか!?

こんなにも力強い言葉が子どもたちから間違いなく湧き上がっているのです。

私もこのふりかえりを読んでいて、本当に取り組んでよかったな、子どもたちの自信につながる学びになったことを実感しています。

子どもたちへ

みんな、よーやったな!! 先生たちからは、100点満点を超える**300点**を君たちに贈ります!

今回の経験は、みんなにとって大きな自信になったはずです。

誰かのために考え、行動したこと。

自分たちの力で人を笑顔にできたこと。

あなたたちから「この勉強は、協力する勉強やな」という一言が、出てきたこと。

この経験は、これから夢に向かって進んでいくとき、きっと大きな力になります。これからも、自分たちの力を信じて、夢に向かって一步一步進んでいってほしいと思います。5年生での活躍も期待しています!!